

農民連の知事要請・懇談に同席

# 農業前進へともに



5月29日、農民運動山形県連合会が県の農業施策について吉村美栄子知事に要請書を提出・懇談し、私も同席しました。

## 24項目を農林水産部に要請・交渉

5月29日、農民運動山形県連合会が県の農業施策について吉村美栄子知事に要請書を提出・懇談し、私も同席しました。

吉村知事は、「農家が良くなれば地域が良くなる。希望を持って農業を前進させていきたい」と答えました。

知事との懇談後に、農林水産部の村上賢一、次長、黒井哲也・農政企画課長に対して、個別事項24項目にわたって要請しました。

再生産可能な米価の実現、果樹・野菜の低価格対策、価格保障制度の充実などをはじめ、意欲ある農家の後継者支援策、生産間地域等直接支払制度の継続と改善など、それぞれが実情を述べ、要望しました。

村上次長は、「国に要請すべきも、内容の要望に



点は要請していきたい」と答えました。また、「農地・水・環境保全向上対策」における活動組織への助成金交付2200円（10戸あたり）を4400円にしてほしい」との要望には、「6月補正に向け努力している」との回答がありました。

2008年合計特殊出生率は1.37(前年は1.34)と報道されています。山形県は、1.44で全国15位(前年は1.42で同16位)で、全国的にも微増です。しかし、厚労省担当課も「上昇が今後も続くかどうかからな

### ゆり子の視点

出生率微増に思う  
入って、妊娠・出産、育児休業等を理由にした解雇などの相談が増えているということですね。

「エンゼルプラン」次世代育成支援行動計画「仕事と家庭の調和(ワークアンドライフバランス)」など、次々に打ち出されてきた国策ですが、将来展

望は霧の中です。雇用や労働に関する法改正、賃金保障、子育て世代の負担軽減や学費の無償化などに本気で取り組む政府が必要です。総選挙は、しっかりと投票権を行使しましょう。妊娠等の不利益取り扱いは悩んでいる方は、勇気を持って労働局に相談や申し立てをしてください。社会を良くしていくことにつながります。泣き寝入りしないで!



2009年6月14日 第68号  
発行 日本共産党県議会議員 渡辺 ゆり子  
〈連絡先〉 日本共産党県議団執務室 電話 023-630-3241 自宅:山形市青田2-10-5 電話 023-642-2365

【写真上】吉村知事(左)への要望・懇談に同席するゆり子  
【写真下】県農水部との交渉に同席するゆり子(左から2人目)同



山形県母親大会・全体会で記念講演を聞く参加者 5月31日、東根市  
吉村美栄子知事からメッセージが寄せられました。女性の熱気と粘り強い運動はすごいです。私もいつも元気をもらっています。

県内視察 新型インフル対策など  
県議会はこの時期、各常任委員会ごとに県内の視察が行われています。6月1～3日にかけて厚生文化常任委員会の視察があり、2日は県立新庄病院の新型インフルエンザ対策について研修しました。実際に発熱外来から患者の搬送、陰圧病床(ウイルスを封じ込め外に出さない)に至るまでシミュレーションしていたいただきました。ものすごい防護服をまとった看護師さんを見ると、強い使命感を持っていることが感じられました。県内では、感染症指定医療機関の陰圧病床は18床しかありません。「状況に応じて臨機応変に病棟をブロック化することなども考えている」としていますが、医療従事者の負担増は大変なものを受けとめました。一般病院も含めて、今後の対策は課題です。